

ヨコハマの国際事業の  
主な動きをお届けする

# YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 12 月 10 日  
【発行】横浜市国際局政策総務課  
企画担当 045-671-4710  
ki-somu@city.yokohama.jp



【ドイツ・フランクフルトから留学生 15 名による渡辺副市長表敬訪問の様子】

## フランクフルトのシューレ・アム・リード校から、留学生が横浜を訪問しました

横浜市立桜丘高校と、フランクフルトのシューレ・アム・リード校は、平成 29 年 11 月に姉妹校提携を行い、今年から生徒の相互派遣交流がスタートしました。



このたび、留学生第 1 号となるシューレ・アム・リード校の生徒 15 名が、元気に横浜へやってきました。リード校の生徒は、桜丘高校の生徒宅でホームステイを行い、桜丘高校での授業、生徒とのディスカッション、課外活動や横浜の名所見学等を通じて、お互いの親睦と日本文化への理解を深めました。

11 月 2 日には、リード校の生徒が渡辺副市長を表敬訪問。副市長への面会前は緊張の表情を浮かべていた生徒たちでしたが、学校生活やホームステイのことに話題が及ぶと、生徒たちから勢いよく手があがり、様々な感想が寄せられました。渡辺副市長からは、「ドイツに帰国した後も…ドイツと日本、フランクフルトと横浜の架け橋となってください」という激励の言葉がかけられました。

## 第 54 回国際熱帯木材機関 (ITTO) 理事会が開催され、16 名の応援職員が従事しました

横浜に本部を置く唯一の国際機関である国際熱帯木材機関 (ITTO) の第 54 回理事会が 11 月 5 日～8 日にパシフィコ横浜で開催されました。この理事会は、全世界 74 か国が加盟する同機関の最高意思決定機関で、隔年で加盟国と横浜で開催されています。5 日の開会式では、開催都市を代表して、渡辺副市長が登場して、歓迎のあいさつを行いました。



また理事会開催中は、各区局からの応募により選出された 16 名の方が応援職員として従事しました。議事の進行状況によりスケジュールが次々と変更される中、それぞれの語学能力を活かしながら臨機応変にご対応いただきました。



## 横浜開催では初！第 54 回 ITTO の理事会参加者が視察で道志村他を訪れました

11 月 9 日に、11 月 5 日～11 月 8 日に開催された ITTO 理事会の参加メンバーが横浜市の水源地のある山梨県道志村を視察しました。当視察は、ITTO から大都市へ良質な水道水を供給している取組をぜひ視察したいとのリクエストがあったところ、水道局からも積極的な協力の申し出があり、行われました。横浜開催の ITTO 理事会において、視察が行われるのは、今回が初めての取組となります。



当日は約 70 名が参加し、水源地とのパートナーシップや森林保全の取組についての説明を受けました。特に、水道局が独自に作成した装置を使って水源地の効果を説明した際には会場内の至る所から感銘の声があがりました。

